

第3回学校関係者評価委員会

兼信頼される学校作りのための委員会について（報告）

平成27年2月17日（火）に表記の会が実施されました。午後の短い時間ではありましたが、生徒、保護者、職員、地域の皆様にお願ひしたアンケートを基に、委員の皆様から忌憚のないご意見をいただきました。中には、継続的な取り組みを要する内容もありましたが、できることはすぐに改善して今後の枕崎高校の教育活動に生かして参ります。質疑や意見の主なものは以下のとおりです。

1 アンケートについて

- ・ 少数意見でも、保護者からの意見には学校をよくするヒントがあるので生かしてもらいたい。
- ・ 職員のアンケート結果で、「3：まあまあそう思う」という項目が多く選択されているのが気になる。職員はあくまでも「4：とてもそう思う」を目指して努力するべきではないかと思う。
- ・ 保護者からの意見へのフィードバックをして、学校生活に反映させてもらいたい。
- ・ 学習時間の少なさや基本生活習慣については、方法等を十分検討しつつ改善を目指して指導し続けていただきたい。

2 枕崎高校をもっとよくするために

- ・ 就職や資格取得に力を入れてもらいたい。
- ・ 90周年事業の一環として検定料の一部負担をする方向で検討しているので、実現したら活用してもらいたい。
- ・ 本校は総合学科であるがゆえに卒業後の将来像がぼやけているので、明確なビジョンを持たせるように指導してもらいたい。
- ・ 部活動にもっと力を入れて、学校を盛り上げてもらいたい。
- ・ 枕崎高校としての特色を作り、もっと前面に出していけばいいのではないか。

3 その他（中学3年生の、受検希望者が減少していることについて）

- ・ 枕崎市もそうだが県全体として職業系の学科の受験希望が多い。将来の安定を生徒・保護者は求めていると思う。その方向に合った学校作りをしていけばいいのではないか。
- ・ 中学生に夢を具体的に持たせると、視野が広がり地元の学校へ行かない傾向があるようだ。
- ・ 周辺市の高校で本年受検生が増えているところもあるようだ。地元の学校を受けるような積極的なアプローチがあってもよいのではないだろうか。